

製品名: AGXT2L2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06688**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	AGXT2L2
別名	AGXT2L2; PP9286; 5-phosphohydroxy-L-lysine phospho-lyase; Alanine--glyoxylate aminotransferase 2-like 2
遺伝子 ID	85007.0
SwissProt ID	Q8IUZ5
免疫原	抗血清はヒト AGXT2L2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

背景

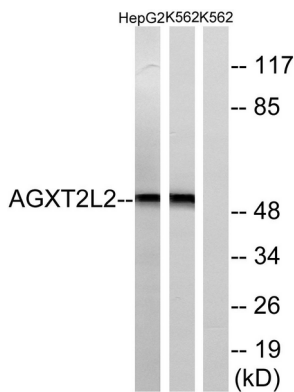
5-ホスホヒドロキシ-L-リジンホスホリアーゼ(PHYKPL) ホモ・サピエンス この遺伝子は、5-ホスホノオキシ-L-リジンからアンモニ

ア、無機リン酸、および 2-アミノアジピン酸セミアルデヒドへの変換を触媒するミトコンドリア酵素をコードする核遺伝子です。この遺伝子の変異は、ホスホヒドロキシリジン尿症を引き起こす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 5 月],補因子:ピリドキサルリン酸,類似性:クラス III ピリドキサルリン酸依存性アミノトランスフェラーゼファミリーに属する,サブユニット:ホモテトラマー,

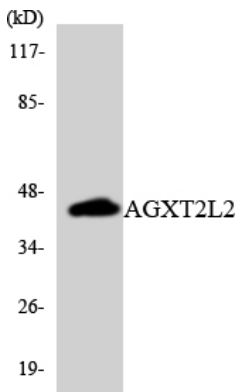
研究分野

-

画像データ



AGXT2L2 抗体を用いた K562 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AGXT2L2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。